
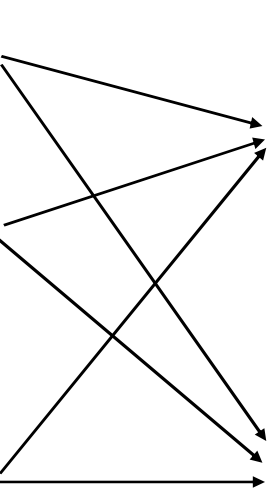

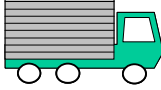









## 東京事業におけるPCB受入基準の考え方(東電の柱上トランス除く)

受入基準とは、東京事業の処理施設にPCB廃棄物を搬入する際に搬入者に守っていただく基準で、国が定めるPCB廃棄物収集運搬ガイドラインをベースにしています。  
 現在検討中である東京事業の受入基準は、先行する北九州事業を参考にし、受け入れるPCB廃棄物の種類や運搬用の容器等については東京事業の実状を反映したものになっています。  
 受入基準は、保管事業者から委託を受けた収集運搬業者が搬入する場合はもちろん、保管事業者が自ら搬入する場合であっても、守っていただくこととなります。  
 受入基準のうち、安全性の面からは、以下に示した 運搬容器及び運搬車両、GPSを利用した運行管理システムの採用及び 事故時の損害賠償保険等への加入の3点が要点となります。

### 1. 運搬容器及び運搬車両

| 廃棄物の種類            |  | 受入基準   |  |  |
|-------------------|--|--|--|--|
| 高圧トランス<br>コンデンサ等  |   |  | <b>漏れ防止型金属トレイに収納</b><br>(ステンレススチール製であること。)<br>     | トレイの固定<br>トレイは運搬車両荷台に固定すること。(トレイの四隅もしくはこれに代わる適切な位置にフック等の器具を設け、トレイを車両荷台に固定する。)<br>PCB廃棄物の固定<br>PCB廃棄物は運搬車両又はトレイに固定すること。 |
| 照明用安定器<br>小型電機部品  |  鉄、ステンレス、アルミ等の金属製<br>又はプラスチック製の容器に収納<br> |  | <b>漏れ防止型金属容器に収納</b><br>(ステンレススチール製であること。)<br>  | 吸収材<br>トレイの中に吸収材を入れるほか、トレイ上部を吸収材で覆うか、バン型トラックの荷台の内面に吸収材を貼り付ける。  |
| 液体のPCB<br>PCBを含む油 |  鉄製又はステンレス製のドラム<br>缶又はペール缶等に収納<br>    |  | 容器の固定<br>容器は運搬車両荷台に固定すること。   | 吸収材<br>容器内に吸収材を入れる。  |
|                   | 液体のまま輸送  |  |   |  |

注:幅1.4m 奥行0.7m 高さ1.7m超又は重さ2t超えるPCB廃棄物は、漏れ防止型金属トレイを用いる。

### 2. GPSによる運行状況管理システムについて

搬入者はGPSシステムを中心に、運行管理システムを整備することといたします。  
 これにより、運搬中の車両位置などの運行情報がリアルタイムで把握できるほか、異常事態の検知や事故等の速やかな対応が可能となります。  
 また、同時に、バーコードにより、運搬する個々のPCB廃棄物を識別することで、予定された廃棄物が確実に施設に搬入されたことが確認できます。

### 3. 損害賠償保険への加入について

PCB廃棄物を積込み、運搬し、処理施設の受入工程に搬入するまでの一連の作業を行う際に、事故等により与えた損害を賠償できるようにするため、自動車保険その他の適切な保険に3億円を下限に加入することを求めます。